

社会科 指導方法の課題分析と授業改善策

	ア 指導方法の課題分析	イ 具体的な授業改善策	ウ 補充的・発展的な学習指導計画
第一学年	<p>○学習内容を復習する時間が授業内で確保することができず、どれだけ定着しているかを単元ごとに把握することが難しい。</p> <p>○思考力、判断力を向上させるために、じっくり資料などを読み取って意見交換する時間を十分に確保することができていない。</p>	<p>○少なくとも単元の終わりに、小テストや簡単な振り返りを行い、生徒の理解度や定着度を把握するための時間を確保する。</p> <p>○資料の読み取りやグループ活動、発表などにあてる時間を単元のどこにするかをあらかじめ決め、単元に一つはじっくりとこのような取組を行う時間を計画的に設ける。</p>	<p>○1年生では基礎力の定着が大切であると考え。そのため、語句をわかりやすく説明すること、前時の簡単な振り返りを授業の始まりで行うなどする。</p> <p>○定期考査前の質問教室で、わからないところをそのままにしないで定期考査に臨む環境作りをする。</p> <p>○他教科でも話し合い活動を積極的に取り入れているため、その方法などを共通のものとして、生徒の話し合いがスムーズに進むようにする。</p>
第二学年	<p>○思考力、判断力、表現力を高める授業を工夫しているが、時間をそれなりに確保することが大切である。</p> <p>○生徒間での話し合いや意見交換をする機会を増やした結果、知識・理解の向上が図られたが、時間確保が難しい点がある。</p> <p>○定期考査においては、図やグラフなどの資料を読み取る力が不十分なので、授業の中で資料をその都度しっかりと取り上げ、それを読み取る作業を増やす必要があると考えられる。</p>	<p>○4人班での話し合いと発表をより多く取り入れていく。班の話し合いの運営者(司会)や発表者を授業ごとに入れ替える指導も行う。</p> <p>○図やグラフなどの資料を見るだけではなくそこから読み取れることや理解できることなどの時間をしっかりと確保し、思考力、判断力、表現力が深まるよう授業計画を工夫し時間確保に努める。</p> <p>○説明にあてる時間と、生徒活動の時間のバランスを考えて、授業計画を行う。</p>	<p>○ワークブックや白地図などを利用して学習意欲を高め、個々に目標を定めさせ、補充的な学習内容と発展的な学習内容を、それぞれ個々の生徒の理解や進捗状況に応じて指導をしていく。</p> <p>○アクティブラーニングを取り入れ、生徒同士で学び合い、理解を深める授業を工夫していく。</p> <p>○課題解決のために、資料を取捨選択する能力を、班の話し合いなどの中で個々に身に付けていく授業を展開する。</p>
第三学年	<p>○1年次に習得した内容に関する基礎知識を定着させる指導が課題である。</p> <p>○歴史的分野については、主要な年代について、古代から現代史まで頻出と思われる事項をピックアップして、数回に分けて繰り返しの学習をさせてきた。</p> <p>○地理的分野についても、今後は基礎力アップの小テストを開発していく必要がある。</p>	<p>○深い思考力を育むために、例えば「戦争を起こしてはいけない理由」を考えさせるような課題も作成し、取り組ませる。</p> <p>○発表活動により意見の共有ができる授業も開発し、その時間数も以前より増やしていく。</p> <p>○毎時間の授業の中に、考える、読み取る、書く、伝えるといった様々な活動をバランスよく取り入れて、思考が深まるような授業の流れを作るようにする。</p>	<p>○3年生の3学期には地理・歴史・公民的分野の総まとめを行う。基礎力増強のために短時間で振り返りができる授業・教材の立案が必要である。</p> <p>○毎日の授業については、ストックされた膨大な資料映像のなかから、関連内容について適切でしかも中学生の視点で印象深い作品を選んで提示していく。</p>

